

# 『教員を目指す君たちに受けさせたい論作文講座』の指導実践

明星大学理工学部総合理工学科 特任教授 神田正美

## 抄録

明星大学教職センターは教員採用試験に向けて論作文等対策講座を開講する。『教員を目指す君たちに受けさせたい論作文講座』を教科書として、特任教授と非常勤教員がそれぞれの指導法で、教員として望まれる資質を学生に育成する。筆者は自作資料を併用して、東京都の論作文問題を手掛かりに、論理的な文章の書き方や教員としての考え方等を指導した。

キーワード 教員採用試験 論作文 論理的な文章

## 1 教員採用試験の論作文課題

教員採用試験の科目として論作文を課さない自治体があるとはいうものの、論作文を課題としている自治体は30を超えている<sup>i</sup>。論作文問題の採点基準は、受験者の論理的思考力、教育への熱意、適性などである。教育委員会は600～1,000字程度の文章で、これらの基準によって受験者の人物を判断する。したがって、判断される側である受験者は規定字数の中で、自らの人物を証明すべく論理的思考力と、教育への熱意と、教員としての適性を表明しなければならない。それらは面接でも判定されるが、面接を補完する役割が論作文試験に期待されている。

## 2 教職センター主催の論作文等対策講座と本稿の関係

明星大学教職センターは、教員採用試験を受験する予定の3年生に対し、10月から「論作文等対策講座」を開講する(2020年度は11月開始)。講座は第1期(ほぼ10回)に論作文の書き方を一通り教え、第2期(1月以降)は面接練習と論作文の個別指導をする。しかし、独学で準備できると考えて受講申し込みをしなかった学生や、申し込みはしたものの様々な理由から途中脱落した学生が4年生に進級した時点で、やはり論作文の指導を求めてくる。これらの学生を対象として、4月には「追加講座」を開講する。筆者は大学に着任した最初の年度に、この「追加講座」を担当した。すでに採用試験は3か月程度先に迫っており、10月から対策を始めた学生と比較すれば半年遅れている。当然、先行講座と同じ速さで進めては間に合わない。速成の指導、かつ、学生の意欲や能力を引き出す指導でなければならなかった。明星大学が発行した論作文問題対応のテキスト『教員を目指す君たちに受けさせたい論作文講座』を使いながら、短時間で論作文を書けるようにとレジュメを作成した。

その後、4年にわたり10月開講の講座を担当しながら、自作の指導レジュメを改訂してきた。本稿は筆者が実践した論作文指導の報告である。

## 3 指導の方針

論文の役割、あるいは教育課題に対する考え方といった、基礎的講義や基礎訓練をするのが論作文講座の王道であろうが、筆者はすぐに書き始めさせる。扱うのは東京都の問題である。受講生には、東京都を受験する学生が多いが他県を第一志望にしている学生も混在している。10月開講の講座の場合は、全員

まず東京都の問題を書いて、論文の型を実地訓練で学ぶ。3回か4回で最初の論文を書き上げ、次に自分が受験する地区の問題に取り組む。

最初に東京都の問題を全員に書かせる理由は、受講生中に占める東京都受験者の割合が高いということが第1の理由である。第2の理由は、字数が1,000字程度と大きいことである。800字程度の論文が課題になる受講生も、まず字数の多い論文を書いた後に、字数を縮める体験をさせることで、内容が濃い論文の書き方を理解できるからである。

## 4 論作文講座 第1期 第1講

### 1 敵を知る 敵を知ることが試験に合格するためには必須

孫子の言葉『孫子・謀攻』に「彼を知り己を知らば百戦<sup>ひゃくせんあやう</sup>殆<sup>たい</sup>からず。彼を知らずして己を知らば、一たび勝ち一たび負く。彼を知らず己を知らざれば、戦う毎に必ず殆<sup>たい</sup>し」とある。

「彼」は「敵」と書くことも、「殆<sup>たい</sup>からず」は「危うからず」と書くこともある。

彼(敵)とは試験を実施する教育委員会のこと、己は受験者自身のことである。  
自分が受験する自治体の試験の形態を調べよう。試験時間。字数。配点など。  
彼(敵)である教育委員会が求める教師像を調べよう。

#### 【例】

東京都の教育に求められる教師像<sup>ii</sup>

- 1 教育に対する熱意と使命感をもつ教師
- 2 豊かな人間性と思いやりのある教師
- 3 子供の良さや可能性を引き出し伸ばすことができる教師
- 4 組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高めあう教師

### 2 己を知る 己を知れば勉強方法も分かる

書くことが頭の中にあるのか。(内容)

どうやって書くか分かっているか。(技術あるいは文章力)

書いた論文がどの程度評価されるかを他者の目で見られるか。(客観性)

#### 東京都の評価の観点

「課題把握、教師としての実践的指導力、論理的表現力等」を評価する。

文章だけで人物や実践的指導力や適格性が伝わるように書かなければ不合格。

### 3 論作文を書く際の初歩的な注意点

- (1) 常体か敬体か。→ 常体で
- (2) 「思う」「考える」を使うとどうなるか。→ 弱気の表現になりがち
- (3) 字数 800字程度と言った場合は何字から何字までか。→ プラスマイナス1割
- (4) 鉛筆の濃さは。→ HBか2B
- (5) 字の大きさは。→ 読みやすい字の大きさ
- (6) 上手な字で書くとプラス点があるか。  
下手な字で書くとマイナス点か。→ 直接減点はないが適性の評価に影響
- (7) 段落分けはするのか。→ 本論は1～2段落
- (8) 一文の長さはどの程度がよいのか。→ せいぜい2行

### 4 採点者はだれか(もう一度、敵を知る)

- (1) 受験者は授業中に黒板にどのような字を書くのだろうか、と気にしている。
- (2) きちんと論理的な思考ができる人なのだろうか、と気にしている。

- (3) 児童生徒の作文やレポートを評価できる人なのだろうか、と気にしている。
- (4) 正しい日本語が使えるのだろうか、と気にしている。
- (5) 人権感覚が信用できるか、を気にしている。
- (6) 今の学校教育の課題を理解しているだろうか、と気にしている。
- (7) 課題に向き合っていく気概をもっているだろうか、を気にしている。
- (8) 教師の立場に立つということを表現できるか、を見たいと思っている。

## 5 論文の基本構造について

- (1) 序論 → 本論 → 結論 である。
- (2) 本論には何を書くのか。  
私の具体的な取り組みが書いてなければ、問題に正対していないことになる。
- (3) 型から入れ。

## 6 例 令和元年(2019年)実施、東京都小学校全科の問題の分析と論文の書き方 (中高受験者には中高受験の問題を提示する)

第1の課題	自分の考えを強く主張する児童がいる 自分の考えを相手に伝えられない児童が散見される
第2の課題	困っている子や悩んでいる子を見かけたことがあるにもかかわらず、力になることができなかつた子が、その半数いる ↓ 互いに尊重し合い支え合う姿勢が十分ではない
今年度の学年経営方針	
「学校生活において、相手の考え方や立場を理解し、共に支え合うことができる児童を育てる。」	

### ■原稿用紙に書く前にやること

- ①問題文に書かれた児童の実態について想像する。
- ②そのような実態が出現する理由を考える。
- ③その理由をキーワードで表現する。
- ④キーワードで表現されたものを解決する(実現する)ための行動(アクション)を学習指導分野で3つ、生活指導分野で3つ考える。
- ⑤3つの行動(アクション)を総括する表現(標題)を考える。

### ■本論の構造

策① 標題1行 本文9行
策② 標題1行 本文9行

## 7 第1講の宿題

序論と結論は書かなくてよい。本論20行だけ書いてみよう。

## 5 論作文講座 第1期 第2講

### 1 本論(具体的な方策)を充実させるためのポイント

本論は策①と策②から成り立つ。その策①、策②の中に書く具体的な行動も「策」と呼ばれることがあり、広い意味での「策」と狭い意味での「策」が混同するので、狭い意味の「策」はこの講義ではアクションと呼ぶことにする。

### 2 本論の中身

#### (1) 論-例-策(アクション)という書き方

- ①理論(というほど大げさではないが、自分なりに考えている理屈)を書く。
- ②自分の子供時代の体験や、インターン・ボランティア・教育実習などで見聞きした例などを書く。
- ③最後に、①②から導き出される具体策(アクション)を書く。

#### (2) 論-策(アクション)-価値づけという書き方

- ①理論
- ②策(アクション)をたっぷり書く。
- ③その策(アクション)の意義や効果を書いて、自分の策(アクション)をアピールする。

### 3 方策(アクション)は構造的に用意する

とくに上記(2)の書き方の場合は重要

#### ①平面(タイル)敷き詰め方式(視野の広さアピール方式)

床にタイルを敷きつめるように最初のタイルの隣に関連するタイルを貼っていくつもりで書いていく。

#### ②階段上り方式(思慮深さアピール方式)

まず、土台となるアクションを述べ、その上に2段目、3段目と積み上げていくようにアクションを書く。

### 4 方策(アクション)を畳みかける書き方

まず、……

次に、……

さらに、……

これができるようになったら、接続詞を取り払ってもつながるようにする。(より高等な書き方である)

### 5 説明上手の書き方

- |              |  |
|--------------|--|
| ①効果説明方式      | こうやることでこういう効果が生まれる。  |
| ②価値づけ・意義づけ方式 | これは、こういう意味をもっている。<br>学習指導要領や中教審答申などを引用して高い見地から意義づけると格調が高くなる。 |
| ③理由・対策説明方式   | 素直に、こういう理由からこういう方策をとる、と書く方式。                                 |

[例]

まず〇〇を行う。●●の効果が生まれる。次に、〇〇を行う。このことは●●という意味をもつ。さらに、〇〇を行う。こうすることで●●も実現できる。

## 6 最後の工夫(これは省略してもよい)

広い意味での策が終わるところで、「自分が書いてきたこと」が「ねらい(出題者の意図)」と一致していることに触れる。

[例]

こうすることで児童は自分の考えを相手に伝えられるようになる。

[どうすれば自分の言い分を相手に伝えられるようになるか、という問題の場合]

## 7 宿題

書いてきた本論を他の受講者の本論と比べて、より伝わる内容に書き換える。

## 6 論作文講座 第1期 第3講

### 1 論文の構造

新しい問題に正対して論作文を書く方法を、例を使って説明します。

#### 問題

動物園で飼育しているサル山のサルが餌をあまり食べず、元気もない。これではサルの栄養状態、健康状態が心配だ。動物園の飼育係としてあなたはどうしますか。

#### ■問題を見た受験者の思考をたどる

何が課題だろう → 課題を洗い出してみよう → 考えつく課題①餌の味が悪い、②サルの飼育環境が悪くてサルが病弱、③サルの群れが病気にかかっている、④サルの飼育舎が狭くて運動不足になり、食欲がない、⑤サルを見に来た来園者が餌を投げ与えているなど → この中で自分が対策を考えられそうな課題は何番だろう → ③なら書けそう → ③に対して解決策を2つ書き出そう → 策①定期的に獣医がサルの健康診断をする → 策②一匹ごとに体調日誌をつける → これで問題の解決策ができた → 序論で自分の解決策に結び付けるように課題分析を書けばいいんだな

#### ■序論

サルが餌を食べないと栄養状態、健康状態が悪化し、サルの個体数が減少してしまう。動物園の機能が損なわれるので早急に解決しなければならない。状況から判断してこの問題が起こったのはサルの群れが病気にかかっていることが原因だと考える。この課題を解決するために、私は動物園サル飼育員として2つの策に取り組む。

#### ■序論とは何か

与えられた問題(課題)を別の問題に置き換えること。言葉は悪いが、すり替えること。そのすり替え作業が序論の役割である。上の問題でいえば、「餌を食べない」という問題を「病気」という自分の書けそうな分野の課題に置き換えてしまっている。このすり替えが、読者に「なるほど」と思われるすり替えでなければならない。論理展開の工夫が必要。

順番としては、まず、策をいくつか用意しておく。その策に結び付けるように与えられた問題を解釈し直す。上記の例でいえば、「食べる餌の量が減った」を「病気」だからと解釈している。策に強引に結びつけて(読者にはそう思われぬように)話をつくる。

もう一つ序論の書き方がある。課題が出されたら、「その課題の本質はこれだ」あるいは「解決策はこれだ」と答えてしまうこと。これも書き方として正しい。



### ■序論を書くときの注意点1

問題を別の問題に置き換えると書いた。置き換えた新たな問題については、具体策とぴったり一致していなければならない。

ダメな例

〈置き換えた新たな問題〉 サルの群れが病気にかかっていることが原因

〈策〉 餌を無農薬の餌に変える

ダメな理由 → なんとなくあっているようで間違っていないようだが、直接の解決策ではない(論理に飛躍がある)

### ■序論を書くときの注意点2

策の内容を全部書いてしまわないこと。標題をそのまま書いてしまうのは手品の種明かしを先にやってしまうのと同じでよくない。

## 2 策のたてかた

今は、過去の問題に時間をかけて取り組み、その都度「策」を考えるという正攻法で勉強します。学習指導と生徒指導に関する課題を解決するための方策を引き続き勉強します。試験直前になったら、自分の得意な策をいくつか完成しておき、そこに引っ張りこむような序論を書くという練習を積みみます。

## 3 結論・まとめ・結語の書き方

結論(まとめ・結語とも呼ばれる)について述べます。

時間がなければ1行でもいいのですが、これを書くときある程度恰好がつかます。

〈書き方〉

- 1 広く高い視点に立って問題の核となる言葉を使ってまとめる。
- 2 本論で触れられなかった補充する事項を補足的に記述する。(無理しないこと、なくてもよい)
- 3 学校組織の一員として、管理職や主幹・主任の指導助言のもと教育活動を進める決意を述べる。
- 4 全体の奉仕者としての意識をもち、地域・保護者の信託に応えることを宣誓する。

## 4 宿題

初めて論文を通して書く。

## 7 受講した学生が書いた論文

次に示すのは「型から入る」を意識させ、2～3回の添削の後、学生がはじめて完成した論文である。まだ改良できる点もあるが、合格圏内に入っていると評価した。

### 令和元年(2019年)実施、東京都小学校全科の問題

本学年では、自分の考えを強く主張する児童がいる一方で、自分の考えを相手に伝えられない児童が散見される。これは、自分の存在を認めてほしいという思いや、失敗したくないという思いがあり、自分に自信をもてていないことが原因であると考えられる。また、困っている児童や悩んでいる児童の力になれなかったという児童が多く見られた。これは、児童がお互いのことを思いやる姿

勢が十分ではないことが原因であると考え。これらの課題を解決するために、私は第5学年の学級担任として次の2つの点に取り組んでいく。

#### ①グループワークを通して自分に自信をもたせる学習指導

グループワークを行うことにより、児童どうしがコミュニケーションをとる機会が増える。これにより、児童がお互いの意見を認め合い、自分の意見に自信がもてるようになる。そのためにまず、簡単な問題について話し合う活動を取り入れる。簡単な問題を扱うことで自分の意見に自信がない児童でも発言しやすくなる。話し合い活動に慣れたらグループの中で司会を決めて児童だけで進行させる。さらに、ディベートを取り入れた授業を行う。これにより、自分の意見を主張するだけでなく、相手の意見を尊重し認め合う力が養われる。これらの活動を充実させることで、自分の意見が認められていることを実感することができ、自分自身に自信がもてるようになる。

#### ②お互いの良さに気づき認め合うことで思いやる姿勢を養う生活指導

お互いの良さや違いに気づき認め合うことの喜びを実感させることで、お互いのことを尊重し認め合うことができるようになり、相手を思いやる力が養われる。そのためにまず、学級の中でしてもらって嬉しかったことを発表する時間をつくる。これにより、お互いの良さに気づき、どのようなことをすれば相手に喜んでもらえるか考えるようになる。次に、学校行事や縦割り班活動の時に5年生としてどのように6年生を支え下の学年の児童を引っばっていくか考えさせる。さらに、地域の行事やボランティア活動に参加する。これらの活動を充実させることで、相手のことを考える力が身につき支え合う喜びを実感することができる。これにより、お互いのことを思いやる姿勢が養われる。

私は、以上の2つの点を重点に置き、「学校生活において、相手の考え方や立場を理解し、共に支え合うことができる児童を育てる。」を実現するために、教師として児童の見本となるよう日々努力していく。

## 8 論作文指導の目的

誰が読んでも分かりやすい論文は、論理的に書かれたものである。論理的文章は論理的な思考から生まれる。思考の訓練を積むことが教員の資質を育成する。児童生徒や保護者、職場の同僚に対しても分かりやすく説得力のある話ができるような新規採用者を育てたい。そのために、まず型から入り、ひとまず書けるようにして自信をつけさせる。その上で個別添削を繰り返す。なかなか私の合格点がもらえず苦しむ学生もいるが、最後は「勉強してよかった、教員としての考え方や見方が分かってきた」と言う。論作文の指導は書く力をつけるだけが目的ではない。教員としての資質育成を忘れずに取り組んでいきたい。

## 9 指導方法の向上に向けて

明星大学が出版している論作文問題対策テキスト『教員を目指す君たちに受けさせたい論作文講座』は、筆者は、論文を一回書きあげた後に読ませている。苦勞して書いた後に読むと、テキストの内容がより深く理解できる。論作文の指導はどうしても指導者の好みや癖が出る。筆者の指導を受ける学生の論文も、意図しているわけではないが、どうしても筆者好みの論文になってしまう。それを修正できるのがテキス

トを読む作業であり、別の指導者に学んだ学生の論文を読むことである。筆者も、他の指導者に学んだ学生の論文を読んで得るところが多い。明星大学で論作文講座を担当している特任教授や非常勤教員はそれぞれが自分に合った方法で指導しているが、本稿は指導法の一例として紹介したものである。今後、指導方法をさらに高めていくためにご叱正をお願いしたい。

#### 注

- i 2019年夏実施の教員採用試験において、68自治体のうち論作文を実施した自治体数。小(1次12、2次33、計45)、中(1次11、2次32、計43)、高(1次8、2次29、計37)、特支(1次9、2次28、計37)、養護教諭(1次11、2次32、計43)。文部科学省「令和2年度、教師の採用等の改善に係る取組事例」(2020年8月)
- ii 「東京都教員人材育成基本方針」[一部改訂版]平成27年2月改訂 東京都教育委員会 p.5  
[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/staff/personnel/training/files/development\\_policy/27jinzaikuseihosin.pdf](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/staff/personnel/training/files/development_policy/27jinzaikuseihosin.pdf)

#### 参考文献

- 『教員を目指す君たちに受けさせたい論作文講座 教育の見方・考え方が変わる 第2版』  
明星大学教職センター編 2016 明星大学出版部